

(上流域)

吉野川水系河川整備計画

－吉野川の河川整備(国(直轄)管理区間)－

説明資料(パワーポイント)

平成20年1月16日

国土交通省四国地方整備局

ご意見の取りまとめ方法(2)

市町村長の意見を聴く会(上流域:土佐町)

●素案の見方

修正素案における修正箇所
 追加文章:太字(ゴシック体)・アンダーライン
 取り消し文章:取り消し二重線

再修正素案では
 明朝体

再修正素案における修正箇所
 追加文章:太字(ゴシック体)・アンダーライン
 取り消し文章:取り消し二重線

【修正素案P57の一部抜粋】

であり、いずれの区間も概ね環境基準を満足しているが、今後下水道整備の遅れ等により水質悪化が懸念されている。このことから、関係機関と連携のもと、下水道整備率の向上や合併処理浄化槽の設置促進等により、工場や家庭排水からの汚濁負荷量を減らすことによる良好な環境の水質の維持に向けた取り組みが必要である。

【再修正素案P57の一部抜粋】

であり、いずれの区間も概ね環境基準を満足しているが、徳島県における汚水処理施設の整備率は全国的にも低い状況にあり、今後下水道整備の遅れ等により水質悪化が懸念されている。吉野川の水は、流域に暮らす多くの人々の生活や産業を支えている水通用水やかんがい用水等として、また、河川で生物が生育・生育するための水として重要であることから、関係機関と連携のもと、下水道の整備の進捗や合併処理浄化槽の設置等の促進等により、工場や家庭排水からの汚濁負荷量を減らすことによる良好な水質の維持に向けた取り組みが必要である。

●「ご意見・ご質問」に対する四国地方整備局の考え方についての見方

細字(明朝体):
 修正素案までの文章

取り消し線:
 再修正素案での取り消し文章

太字(ゴシック体):
 第2回の追加意見

アンダーライン:
 テーマに関する箇所

市町村長の意見を聴く会(上流域:土佐町)

ダム管理

- ・ダムの洪水調節について
- ・富郷・新宮ダムの地すべり対策について
- ・ダム堆砂について
- ・早明浦ダムにおける護岸補修について

河川整備計画に関する公表資料

市町村長の意見を聴く会(上流域:土佐町)

【閲覧箇所】

国土交通省 四国地方整備局 及び 各事務所
 独立行政法人 水資源機構 吉野川局 及び 各管理所
 徳島県 県土整備部流域整備企画課 及び 各機関
 香川県 土木部河川砂防課 及び 各事務所
 愛媛県 土木部河川港湾局河川課 及び 各事務所
 高知県 土木部河川防災課 及び 各事務所
 関係市役所・町村役場 等 60 機関

【吉野川水系河川整備計画ホームページ】



- ・徳島河川国道事務所内 吉野川情報室
- ・石井河川防災ステーション
- ・吉野川ダム統合管理事務所



ご意見と素案への反映結果①

市町村長の意見を聴く会(上流域:土佐町)

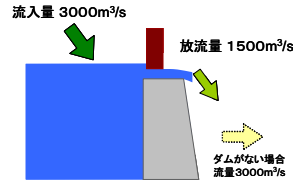
《ダムの洪水調節》

- 発電ダム等とも連携した洪水調節が実施できないか。
- ダムは目的に応じた容量を持っており、通常発電専用ダムを洪水調節に用いることはできませんが、放流に関する情報等は下流のダム管理者等に通知され、情報の共有はされています。

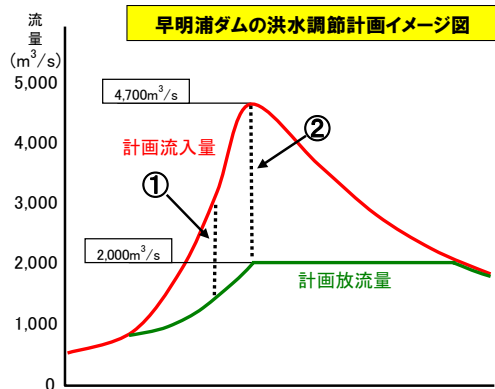
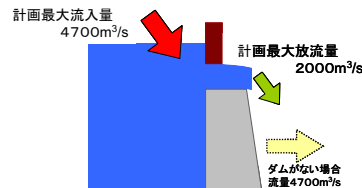
各ダムにおいては、**施設管理規程等に基づき、適切な洪水調節に努めております**

【早明浦ダムの洪水調節】

①の場合



②の場合



○早明浦ダムでは、施設管理規程に基づき、適切な洪水調節に努めており、原則として洪水時において流入量を上回る放流はしておりません。これにより、ダムがない場合に比べて下流の水位を低下させ、浸水被害を軽減させています。

9/37 ○各ダムのゲート操作は、5～10分単位で行っています。

早明浦ダムと銅山川3ダムの洪水調節効果 (平成19年7月台風4号)

早明浦ダムの貯水位の変化



早明浦ダムによって、約2,590m³/sの洪水調節が行われ、洪水調節後、早明浦ダムの水位は約27m上昇した。

富郷ダムの貯水位の変化(柳瀬ダム、新宮ダムは洪水調節を行っていない)



富郷ダムによって、約370m³/sの洪水調節が行われ、洪水調節後、富郷ダムの水位は約29m上昇した。

早明浦ダムにより、本山橋付近では、川幅約150mの河川に対し、約3.1mの水位低減が図れました

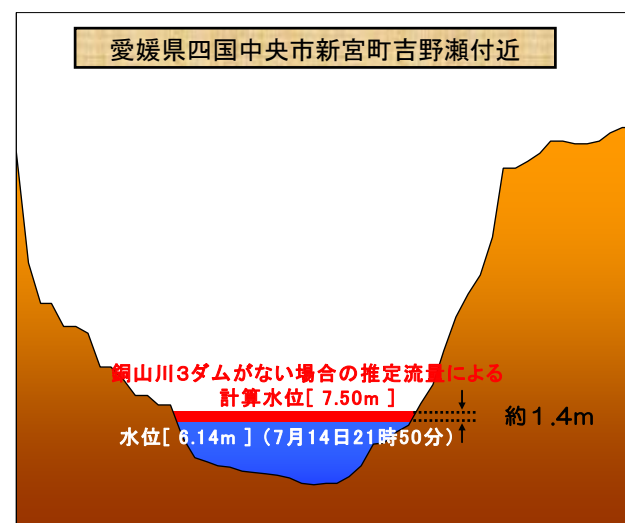


本山橋付近における流量

実績流量	約 2,800m ³ /s
早明浦ダムがなかった場合の流量	約 5,100m ³ /s

※台風4号による降雨量は、早明浦ダム上流域で505mmを記録。

銅山川3ダムにより、新宮町吉野瀬付近では、川幅約40mの河川に対し、約1.4mの水位低減が図れました

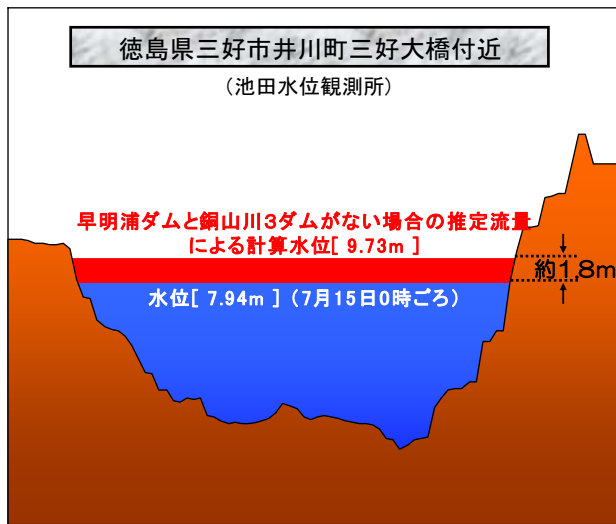


吉野瀬付近における流量

実績流量	約 800m ³ /s
銅山川3ダムがなかった場合の流量	約 1,200m ³ /s

※台風4号による降雨量は、銅山川流域で411mmを記録

早明浦ダムと銅山川3ダムにより、三好大橋付近では、川幅約200mの河川に対し、約1.8mの水位低減が図れました

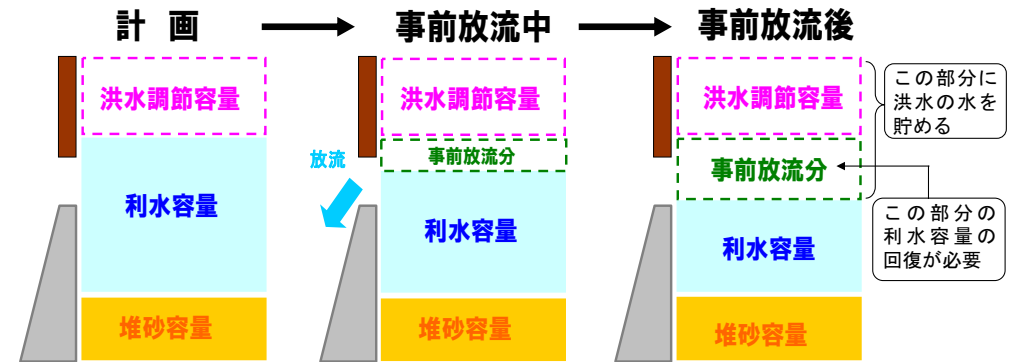


三好大橋付近における流量

実績流量	約 7,900m ³ /s
早明浦ダムと銅山川3ダムがなかった場合の流量	約 11,100m ³ /s

※台風4号による降雨量は、早明浦ダム上流域で505mm、また銅山川流域で411mm、吉野川上流域(池田ダム全流域)では412mmを記録

事前放流を行う場合は、洪水調節のために使用した利水容量を確実に回復させないと渇水被害を増大させる危険性があり、慎重に対応する必要があります



○事前放流とは、洪水に備えてダムの洪水調節容量を増やすために、利水容量の一部を事前に放流することです。

○事前放流を行う場合、**利水者の同意が必要なこと**と、**利水容量の確実な回復が大前提**となります。

ご意見と素案への反映結果②

《富郷・新宮ダムの地すべり対策》

■ 富郷・新宮ダムの貯水池内の地すべり対策はどのような状況で実施するのか。

- 地盤の変位箇所については観測を実施しています。
- 富郷ダムでは排水工を、新宮ダムでは法面アンカー工の補修を実施しており、今後とも引き続き補修工事を実施します。

ダム貯水池内の地すべり滑動については、監視を行い、必要に応じて迅速に対策を講じます



ご意見と素案への反映結果③

《ダムの堆砂》

- 富郷ダムや新宮ダムの堆砂の除去について教えてほしい。
- 早明浦ダムの堆砂除去を積極的にしてほしい。



- 富郷ダムや新宮ダムの堆砂量は毎年調査しておりますが、計画堆砂容量内の範囲です。
- 堆砂が進み、ダム機能に支障をきたす恐れがあれば、堆砂除去等対策を検討します。
- 早明浦ダムの堆砂については、貯水位が下がれば土砂の撤去を実施しています。

17/37

ご意見と素案への反映結果④

《早明浦ダムにおける護岸補修》

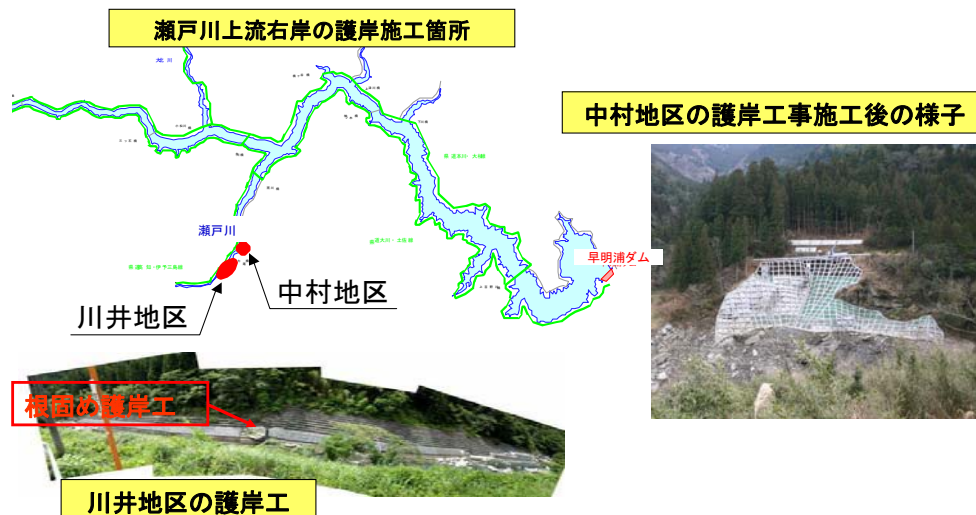
- 瀬戸川地区の被害は、早明浦ダムが起因しているので調査をして頂きたい。



- 貯水池斜面の崩落箇所は、今後とも必要に応じて護岸工等を行っていくとともに、周辺箇所については、地元自治体等と協議していきます。
- なお、山腹崩壊箇所は、場所によっては豪雨や河川の増水が原因と考えられます。

18/37

貯水池斜面の**崩落箇所**は、今後とも必要に応じて**護岸工等**を行っていくとともに、**周辺箇所**については、**地元自治体等と協議**していきます



19/37

ダム環境

- ・早明浦ダムにおけるグリーンベルト事業について
- ・早明浦ダム周辺の環境整備について

20/37

ご意見と素案への反映結果①

《早明浦ダムにおけるグリーンベルト事業》

■ ダム貯水池内の法面が浸食されているので早急に対策を。



- 法面については、常時満水位以上の裸地ではグリーンベルト事業による緑化を実施しています。
- 水位変動が大きい箇所での緑化が可能かどうかは現在試験中です。

早明浦ダム貯水池周辺の法面については、常時満水位以上の裸地ではグリーンベルト事業による緑化を実施しています

○貯水池周辺に植栽を行っており、**広葉樹**を主とした斜面安定度が高く、景観に配慮した複層林型の森林を目指しています。また、貯水池に流入する溪流からの**土砂流出防止対策**を併せて行い、安定した植生と相まって**濁水の発生を抑制**しています。

高木	常緑広葉樹	タブノキ・スダジイ・コジイ・アラカシ・シラカシ・ツクハネガシ・ウラジロガシ・クスノキ
	落葉広葉樹	ヤマザクラ・クヌギ・コナラ・ケヤキ・トチノキ・カツラ
中木	常緑広葉樹	ヤブツバキ・シロダモ・モチノキ・ユズリハ・カクレミノ・ソヨゴ・ヤブニツケイ・ヤマモモ・カナメモチ
	落葉広葉樹	イロハモミジ・オシマザクラ・ヤマボウシ・ヤマモミジ・アキニレ・アカシデ



- 護岸工事の際にも可能な範囲で緑化を行っています。
- 水位変動の大きい場所での緑化が可能かどうかについて現在試験中です。

ご意見と素案への反映結果②

《早明浦ダム周辺の環境整備》

■ 早明浦ダムといの町の間桜の木が枯れてきているので対策を。



- 桜の木の状況は確認しましたが、桜があるのは貯水池上流部の県道です。
- 道路管理者(高知県)に確認したところ、「自治体も交えて、対策についての検討会等を開催することを考えている。」と聞いています。

早明浦ダム貯水池周辺では、関係機関と連携して、環境整備事業を実施し、ダム環境の整備や利便性の向上により、地域の活性化を図ります

早明浦ダム周辺の整備状況

ダムサイト左岸地区
展望台があり湖岸を望むことができる。

ダムサイト右岸地区
キャンプ場、遊歩道、展望台などが整備されている。

観水坂路
大川村役場
小金滝
右岸公園
ふれあい広場
木遊館
道の駅「土佐さめうら」
四阿(展望台)
右岸キャンプ場
さめうら荘
左岸展望台からの眺望
左岸展望台

他機関の管理区間

- ・県管理区間の直轄化要望について
- ・高知県との連携について

森林整備・河道維持

- ・砂防事業区間について
- ・森林に関する他機関との連携等について
- ・河道の維持管理について

ご意見と素案への反映結果①

《直轄化への要望・高知県との連携》

- 早明浦ダム下流の指定区間を直轄区間へ。
- 県との連携をもって計画を進めてほしい。



- 直轄区間への編入のためには一定の条件を満たすことが必要なため、早明浦ダム下流の県(指定)管理区間の国(直轄)管理区間への編入は、難しいものと考えています。
- 「地元の方々の要望や意見を聞きながら検討を進め、条件が整えば河川整備計画を策定したいと考えている。」(高知県)
- 「早明浦ダム下流の県管理区間については国交省の協力を得ながら必要な対策の検討を進めていきたい。」(高知県)
- 「国交省としても県に対してできるだけの支援をしていきたい。」(国交省)

ご意見と素案への反映結果①

《砂防事業区間》

- 河川整備を、砂防事業でやることは不可能なのか。
- 現状の砂防事業だけでなく、今後の対策を。



- 現在の法体制で、堤防などの河川事業を砂防事業で行うことはできません。
- 過去の災害履歴、保全施設の重要度などから、優先順位を決め、優先度の高い箇所から事業を実施していきます。

ご意見と素案への反映結果②

《森林に関する他機関との連携等》

- 山に対して投資が必要。
- 上下流域の連携を一つのシステムにすることはできないか。
- 「四国森林管理局等の関係機関と連携」には、山地砂防も入っているのか。
- ダムの濁水対策のため、ダム上流域での人工林の荒廃対策を含む森林整備や崩壊対策に取り組むこと
- 土砂災害防止のため、住民や自治体等とも連携し、流域の森林整備や山腹崩壊対策を行うこと。

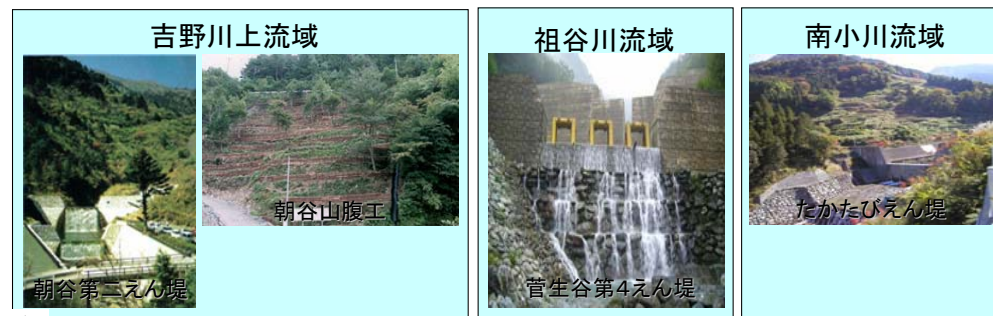


- 森林保全への取り組みについては、土砂流出の防備機能等の保全が図られるよう、森林整備を実施している関係機関と連携に努めます。
- また、「今後の取り組み」として、「砂防治山地方連絡調整会議」(国土交通省・林野庁・徳島県・愛媛県・高知県の治山砂防に関する部局)を通じて森林部局との連携に努めます。
- 森林整備を実施している関係機関や下草刈り等の活動しているNPO団体と連携していくことに努めます。
- 早明浦ダム周辺では、流入土砂抑制を図るグリーンベルト事業を実施してます。
- 砂防事業については、土石流対策などの地先対策と崩壊地などからの土砂流失防止などを目的として砂防事業を実施しております。

森林に関する他機関との連携

直轄砂防実施区域(早明浦ダム流域、祖谷川流域、南小川流域)

国(直轄)の砂防実施区域位置図



関係機関と連携した具体的な取り組み

森林管理部局との連携による森林保全

砂防治山地方連絡調整会議(S46年以前設立)

目的

「砂防治山地方連絡調整会議」は国土交通省・林野庁・徳島県・高知県・愛媛県において組織され、治水砂防行政と治山行政について事務連絡調整を行う会議で、昭和46年以前に設立されたものです。

○委員

- ・国土交通省 四国地方整備局
- ・国土交通省 四国山地砂防事務所
- ・林野庁 四国森林管理局
- ・徳島県 砂防課
- ・徳島県 森林整備課
- ・高知県 防災砂防課
- ・高知県 治山林道課



ご意見と素案への反映結果③

《河道の維持管理》

- 「河道整生や樹木伐採」について、河川砂利の取り扱いはどうなっているのか。



- 河川に堆積している砂利への対応については、「砂利採取規制計画」により砂利採取が可能な箇所は、採取許可を行っています。

河川の砂利採取は、「砂利採取規制計画」により砂利採取が可能な箇所は、採取許可を行っています

河川の砂利採取状況



第3回吉野川流域住民の意見を聴く会での主な意見

<上流域・四国中央市会場 平成19年12月 2日>

- 今回の説明内容を可能な限り素案に反映してほしい。
- 日頃の広報に関しても、いろいろところで情報を見ることができる環境を作ってほしい。
- 新宮ダム下流に、もっと環境用水を流して欲しい。

<上流域・本山町会場 平成19年12月 9日>

- きめ細かなダムの操作をお願いしたい。
- 濁水問題の抜本的な対策を実施して欲しい。
- 早明浦ダム下流の県区間について直轄化をして欲しい。

第3回吉野川流域住民の意見を聴く会での主な意見

<下流域・吉野川市会場 平成19年11月11日>

- 川島排水機場を改築するのであればもう少し大きいポンプ規模に出来ないのか。上流にある学島排水機場よりもポンプの排水能力が小さいのはなぜか。
- 早く吉野川全川の無堤地区の堤防を締め切ってほしい。
- 内水対策は、川島地区と飯尾川地区だけでなく、他の地区も含め30年間における計画を示してほしい。
- 吉野川の管理については、河川だけを管理するのではなく、住民が培ってきた文化などを踏まえ、地域の発展や観光なども含め大きな目で見てほしい。

<下流域・北島町会場 平成19年11月24日>

- 広島地区は非常に危険な地区である。今後10年以内というのではなく、早急に改修に着手してもらいたい。
- ここ10年間で非常に潮位が上がっている。今切川の堤防は古い堤防なので、高潮になった場合、危険である。また、旧吉野川も石積み堤防があり、早急な工事をお願いしたい。
- 鍋川付近(老門地区)には堤防がないところがある。早く堤防を作って欲しい。

第3回吉野川流域住民の意見を聴く会での主な意見

<下流域・徳島市会場(治水・利水) 平成19年12月16日>

- この河川整備計画が実現しても治水安全度は十分に上がらない。その間、吉野川流域の住民は非常に不安な思いで過ごさなければならない。
- 河川維持流量は、今までどおり確保してほしい。
- 想定以上の洪水が発生するかもしれないため、これまでの治水計画には無い、超過洪水が発生しても人命に影響を与えない治水方策の議論が必要である。
- 内水被害、外水被害は別個であるということではなく、被害の状況からみた整備内容について議論する必要がある。
- 河川整備基本方針の基本高水流量は24000m³/sであるが、今の河川整備計画は現実起こった被害を軽減するという計画であることがわかりました。
- 地球温暖化による影響を考えて、国家100年の大計を立てるような防災対策を講じて欲しい。

第3回吉野川流域住民の意見を聴く会での主な意見

<下流域・徳島市会場(環境・維持管理) 平成20年 1月14日>

- 吉野川の環境については、水質だけではなく水量も大切だ。水質については素案に記載されているが、維持流量についても記載してほしい。
- アユは吉野川における代表的な指標生物として、整備計画内に記載すべきである。
- 自然を守ることは大事だが、その根底となる考え方は、人の命や財産を守り、将来にわたって人が生きていけるようにすることだと思う。
- 森林の土砂流出抑制の機能など、最新の知見に基づいた対策についても検討する必要がある。